

事業名 農地有効活用総合対策事業

【R5年度予算額 19,333千円】

キーワード：農地再生、耕作放棄地、遊休農地、粗放的利用、放牧、鳥獣被害対策、小区画、排水不良、未整備農地、分散農地、農地集積

【目的】

未整備農地等の活用推進、耕作放棄地の解消とその発生の防止、農地の集積・集約を一体的に進めることにより、地域農業の持続的発展と集落機能の維持・活性化に資する。

【関連目標】ひょうご農林水産ビジョン2030
担い手への農地集積率66%

【事業の内容】

(1) 耕作放棄地再生・活用支援

耕作放棄地の再生作業等に係る経費の一部を支援。

1号遊休農地:30,000円/10a 再生困難な農地:50,000円/10a

(2) 耕作放棄地粗放的利用支援（国事業：最適土地利用総合対策）

土地利用構想の策定、農地等の粗放的利用等に係る経費を支援。

農用地保全推進事業(ソフト):定額(上限1,000万円)
農用地保全整備事業(ハード):定額(上限2,000万円)

(3) 耕作条件改善支援

畦畔除去・暗渠排水設置に係る経費の一部を支援。

土畦畔除去:5,000円/10m² コンクリート畦畔除去:15,000円/10m²
暗渠排水設置:5,000円/10m

(4) 未整備農地集積奨励支援

未整備農地を新たに借り受け、長期活用する取組を支援。

未整備農地(一般):20,000円/10a 未整備農地(悪条件地):40,000円/10a

(5) 分散農地集積奨励支援

経営農地と分散している農地を新たに借り受け、長期活用する取組を支援。

分散農地:10,000円/10a

【事業の流れ】



【事業イメージ】

①農地利用の明確化

・地域計画の話し合いの中で農地の利用方法を検討



②農業上の利用を行う農地の課題解決に本事業を活用 ※補助対象

- ・山際の耕作放棄地は放牧利用することとし、(1)耕作放棄地再生・活用支援を活用して電気牧柵等を整備
- ・しばらく利用を行わない農地は、(2)耕作放棄地粗放的利用支援を活用して蜜源作物を導入
- ・手を入れれば活用可能な耕作放棄地は、(1)耕作放棄地再生・活用支援を活用して再生作業後に新たに、にんにくを作付け
- ・小区画や排水不良の農地は、(3)耕作条件改善支援を活用して区画を拡大、排水対策を施してから利用
- ・未整備農地や既経営農地から離れている農地は、(4)未整備農地集積奨励支援、(5)分散農地集積奨励支援を活用して担い手による利用を促進



③農業上の利用を行わない区域は、農地の保全・林地化を進める ※補助対象

- ・農地として管理が困難な耕作放棄地は、(2)耕作放棄地粗放的利用支援を活用し植林、その後林地化

地域農地の再生・活用イメージ

①農地利用の明確化

②農業上の利用を行う区域

山際や利用の少ない農地は粗放的利用
再生・整備して作付け



③今後、管理が困難な農地は林地化を進める

【事業所管部署】

農業経営課 集落農業活性化班 農地集積担当 078-362-4035

事業名 いきいき農地バンク方式推進事業【地方創生交付金事業】【R5年度予算額 46,017 (52,067)千円】

キーワード： 農地中間管理事業、いきいき農地バンク方式、地域の話し合い、農地集積、集落ぐるみ、農地の活用・保全

【目的】 将来の地域農業の担い手確保を見据えて地域での話し合いを進め、集落ぐるみの農地の活用・保全と農地の集積・流動化等を一体的に推進（いきいき農地バンク方式）し、地域の役割分担による農地の有効利用を図る。

【関連目標】 ひょうご農林水産ビジョン2030
担い手への農地集積率66%、農地中間管理事業の年間借受・貸付面積2,500ha

【事業イメージ】

1 農地活用施策のコーディネート
【2,936千円】
・コーディネーターが地域の話し合いを促し、地域の現状や課題を共有。地域とコーディネーターで農地の利用計画や、地域と担い手の役割分担を整理
・本事業のメニューや、農地中間管理事業、基盤整備など農地の維持・活用にに向けた事業を検討
・地域の合意に基づき“活用すべき農地”の全てを一括して農地バンクへ貸付け。（いきいき農地バンク方式）
※当面は、自作を希望する小規模農家の農地もまるごと借受け

2 新たな担い手を呼び込むための支援
【6,700千円】

担い手(地域農地管理者)がいない地域では...
ア 担い手が確保できるまでの間、不耕作農地の保全管理を最寄りの農家に委託。
イ 新規就農者や企業など新たな担い手の呼び込みに向け、技術習得や住宅支援など地域での受入体制をとりまとめ、就農支援センターや農業サナなど情報発信。
ウ 担い手支援のため、草刈の体制づくりに取り組み地域にラジコン式草刈機等を貸出し。

3 小規模農家の営農継続や担い手への農地集積【13,400千円】

・地域内外の人材を活用した小規模農家へのサポートや担い手への農地集積に向けた活動を実施。
4 耕作を引き受けた担い手への支援
【22,800千円】
・担い手の規模拡大に必要な機械導入等のメニューを活用
いきいき農地バンク方式を通じた地域の役割分担による農地有効利用の実現


【問い合わせ先】 農業経営課 農地集積担当 078-362-4035

【事業の内容】


メニュー(事業主体)	内容	補助額(補助率)
1 農地活用施策のコーディネート(県)	地域の明確化とその維持・活用に向けた事業メニュー等を提案	地元負担なし
2 新たな担い手を呼び込むための支援(県)	不耕作農地の短期保全管理支援 地域での就農受入体制を情報発信 草刈作業の省力化支援	ア 上限100万円 イ 定額(1/2以内等) ウ 上限300万円 エ 上限3万円(1/3以内等)
3 小規模農家の営農継続や担い手への農地集積(ア：農業法人、イ：市町)	小規模農家の農作業をサポートする農業法人等に活動費を助成 いきいき農地バンク方式による営農(担い手がいない地域を対象に機械への貸付面積、活用率等)を拡大する際に必要となる農作物の生産・販売など規模拡大にかかる人件費等を助成	ア 上限300万円(1/3以内等) イ 120万円/年
4 耕作を引き受けたい担い手への支援(担い手等)	規模を拡大する際に必要となる農作物の生産・販売など規模拡大にかかる人件費等を助成	ア 上限300万円(1/3以内等) イ 120万円/年

メニュー(事業主体)	内容	補助額(補助率)
1 農地活用施策のコーディネート(県)	地域の明確化とその維持・活用に向けた事業メニュー等を提案	地元負担なし
2 新たな担い手を呼び込むための支援(県)	不耕作農地の短期保全管理支援 地域での就農受入体制を情報発信 草刈作業の省力化支援	ア 上限100万円 イ 定額(1/2以内等) ウ 上限300万円 エ 上限3万円(1/3以内等)
3 小規模農家の営農継続や担い手への農地集積(ア：農業法人、イ：市町)	小規模農家の農作業をサポートする農業法人等に活動費を助成 いきいき農地バンク方式による営農(担い手がいない地域を対象に機械への貸付面積、活用率等)を拡大する際に必要となる農作物の生産・販売など規模拡大にかかる人件費等を助成	ア 上限300万円(1/3以内等) イ 120万円/年
4 耕作を引き受けたい担い手への支援(担い手等)	規模を拡大する際に必要となる農作物の生産・販売など規模拡大にかかる人件費等を助成	ア 上限300万円(1/3以内等) イ 120万円/年

現状把握と話し合い



農地のソーシング



担い手(JA出資法人)
認定新規就農者
望する農家
当面自作希望
非農地化

役割分担による農地の有効利用

